

平成 28 年 6 月 23 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

そーせい CVC ファンドへの出資について

～国内の再生医療関連のバイオベンチャー企業などに投資する総額 20 億円のファンドへの出資～

当行は、バイオ医薬品企業のそーせいグループ株式会社(東京都千代田区、代表執行役社長 CEO 田村 眞一、以下、「そーせいグループ」)の 100%子会社であるそーせいコーポレートベンチャーキャピタル株式会社(以下、「そーせい CVC」)が、主に日本国内の再生医療関連のベンチャー企業への投資を目的として平成 28 年 6 月 23 日付で設立する「Sosei RMF1 投資事業有限責任組合」(以下、「そーせい CVC ファンド」)に対して、独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社みずほ銀行などと共同で出資いたします。

そーせい CVC ファンドは、創薬分野において研究開発や新薬候補化合物の導入・導出などに知見と実績を有するそーせいグループが、再生医療分野での新規事業展開を目指して、再生医療研究開発を行っているベンチャー企業に出資するために設立するファンドで、そーせい CVC が無限責任組合員(General Partner、以下「GP」)となり、当行を含む有限責任組合員(Limited Partner、以下「LP」)から合計 20 億円を調達いたします。また、当行の連結子会社でプライベートエクイティ投資を行う新生企業投資株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 松原一平、以下、「新生企業投資」)では、今後、そーせい CVC の発行済み株式の 5%を取得するとともに、そーせい CVC への人材派遣やそーせい CVC ファンドの投資委員への就任などを通じて、バイオを含むベンチャー企業への豊富な投資経験やファンド運営のノウハウを活かして、そーせい CVC ファンドの運営を支援いたします。

平成 26 年 11 月に「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」および「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の施行に伴い、再生医療の実用化に向けた承認期間が短縮されることで、国内では、さまざまな再生医療関連のビジネス機会の拡大が期待されています。そーせいグループでは、そーせい CVC ファンドの投資活動、これまで同グループが培ってきた創薬分野における研究開発や事業活動の経験とノウハウを生かした支援を通じて、ライフサイエンス企業の成長をサポートし、広く人々の健康・生活の質の向上に貢献していきたいと考えています。

新生企業投資では、Pre-IPO 投資としてミドル・レイターステージのベンチャー企業に成長資金の提供を行うとともに、外部パートナーとの共同ファンドの設立を積極的に行ってまいりました。本件は iPS 細胞関連のバイオ企業である株式会社リプロセルとバイオベンチャー企業への投資を行う目的で平成 26 年 3 月に共同設立したファンドに続く、バイオ分野への取り組みとなります。当行および新生企業投資では、そーせい CVC ファンドの投資活動を支援することにより、新生銀行グループとしてリスクマネーの提供などを通じて、新しい産業分野の創造に貢献してまいります。

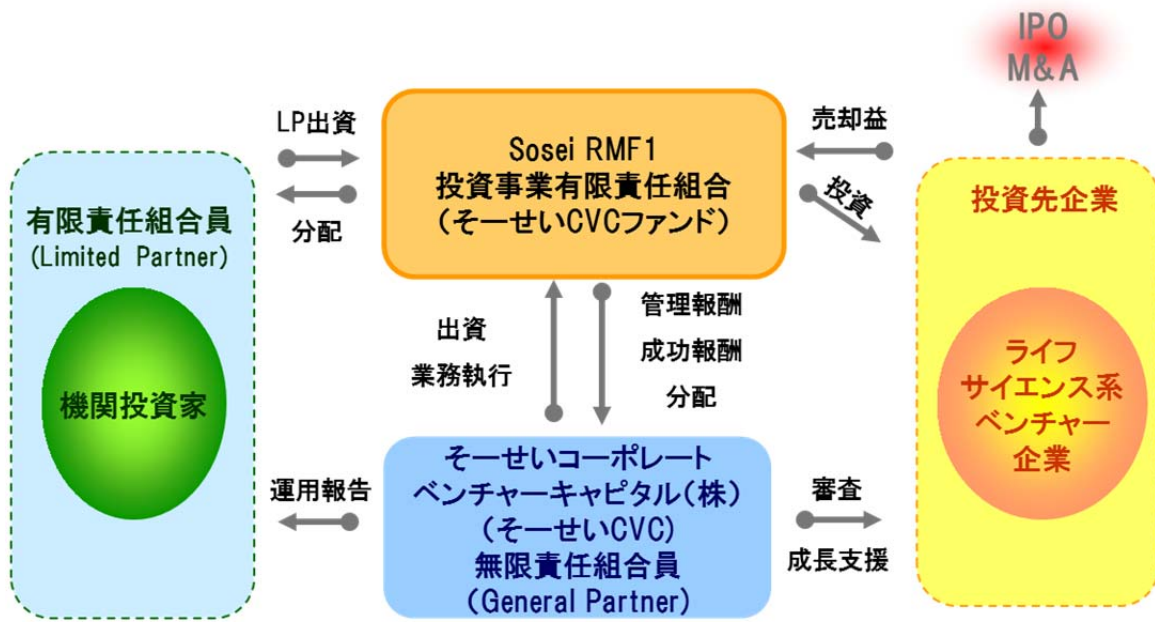
【ファンドの概要】

名 称 : Sosei RMF1 投資事業有限責任組合(そーせい CVC ファンド)
ファンド規模 : 20 億円
出 資 者 : 無限責任組合員(GP):そーせいコーポレートベンチャーキャピタル株式会社
有限責任組合員(LP):独立行政法人中小企業基盤整備機構、そーせいグループ株式会社、株式会社みずほ銀行、みずほ証券プリンシパルインベストメント株式会社、株式会社新生銀行
投 資 対 象 : 国内の再生医療関連のバイオベンチャー企業

【運営会社の概要】

名 称 : そーせいコーポレートベンチャーキャピタル株式会社(そーせい CVC)
代 表 者 : 代表取締役 虎見 英俊
設 立 : 平成 25 年 5 月 29 日
所 在 地 : 東京都千代田区麴町 2 丁目 4 番 麴町鶴屋八幡ビル 5 階
事 業 内 容 : 投資事業組合の組成、運営および管理
資 本 金 : 1,000 万円(そーせいグループ株式会社 100%)(平成 28 年 6 月 23 日現在)

【ファンドのスキーム図】



以上